

法人税 確定申告書（ 年分・平成〇〇年〇月〇日 事業年度分・ ）に係る

平成△△年△月△日

税理士法第33条の2第1項に規定する添付書面

33の2①

		※整理番号				
税理士又は 税理士法人	氏名又は名称	税理士 国税 太郎 ⑩				
	事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
書面作成に 係る税理士	氏 名	税理士 国税 太郎 ⑩				
	事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
	所属税理士会等	東京 税理士会 〇〇 支部 登録番号 第 〇〇〇〇〇号				
税務代理権限証書の提出		<input checked="" type="checkbox"/> ( 法人税・消費税 ) ・ 無				
依 頼 者	氏名又は名称	株式会社 〇〇商事 代表取締役 〇〇 一郎				
	住所又は事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
私（当法人）が申告書の作成に関し、計算し、整理し、又は相談に応じた事項は、下記の1から4に掲げる事項であります。						
1 自ら作成記入した帳簿書類に記載されている事項						
帳簿書類の名称		作成記入の基礎となった書類等				
なし。その取引内容については月次監査によりその正確性を確かめている。		なし。なお原始記録、契約書等の整理保存状況はどれも良好である。				
2 提示を受けた帳簿書類（備考欄の帳簿書類を除く。）に記載されている事項						
帳簿書類の名称		備 考				
仕訳帳、総勘定元帳、損益計算書、貸借対照表、勘定科目内訳明細書、貸金台帳、源泉納付書、証憑綴り、売掛表、仕掛表、残高証明						
※事務 処理欄	部門	業種	意見聴取連絡事績		事前通知等事績	
			年月日	税理士名	通知年月日	予定年月日
			・ ・		・ ・	・ ・

※整理番号

3 計算し、整理した主な事項

区分	事項	備考
人件費・源泉徴収関係	役員及び従業員、アルバイトの人員につき適正に処理をしているか又は源泉税に関し甲欄及び乙欄が混入するため毎月納付状況を確認し決算において再度確認した。 また、現物支給に該当するものが無いかも確認した。	貸金台帳・源泉納付書・扶養控除申告書綴り アルバイトの課税、現物支給に該当するものの有無など、税理士が確認しており、調査省略等の参考となる。
売上高	売上高については毎月売上日報の提出を受けて監査し、期末において△後の取引について計上漏れがないか再度確認した。	請求書一覧表及び売上日報
売上原価・経費全般	毎月の監査において領収書綴り、請求書綴り、借入返済表一覧、日座引落分請求書綴り等閲覧し、科目の訂正等を指摘し且つ決算において再度、補助元帳綴りにおいて科目の適正さを再度確認した。	領収書綴り、請求書綴、借入返済表等
資産増加	建物、器具は今期より△△センターの仕事を始め、それに伴う建物等の内装の改修工事及び備品等がかかった。 △△センターに係る工事の実施が確認できることと、大規模工事の細部（諸経費）にまで税理士が確認しており、調査省略等の参考となる。	契約書、請求書、見積書 期末の売上計上もれの有無について税理士が確認しており、調査省略等の参考となる。
(1)のうち顕著な増減事項		増 減 理 由
売上高 ○%減少	受注数は昨年度と比べ減少はしているが、それにも増して受注単価の下落によるものが大きい。	
消耗品費 ○% 増加	△△センター設立に伴う費用の増加がほとんどで、措置法による少額資産の損金算入分約××万(冷房機器○台)も含む。	
(1)のうち会計処理方法に変更等があった事項		変 更 等 の 理 由
(3)		

※整理番号

4 相談に応じた事項	
事 項	相 談 の 要 旨
なし	
5 その他	
<p>総合所見</p> <p>売上高及び製造原価並びに販売費一般管理費等においては、毎月の監査時においてチェックし、仕訳の間違え等があればその都度指導し修正させています。また決算時には再度内容を確認し検討しました。</p> <p>以上の結果から提示を受けた帳簿書類の範囲において、記帳は事実に基づいて処理されており法令の規定に従って申告書を作成しました。</p>	